ハイムだより

[防災]

特別号第6回

２０１９（平成３１）年
３月　発行

発行者　新多摩川ハイム管理組合　理事会（〒214-0012 川崎市多摩区中野島 6-29-7）
TEL 044-945-1193　FAX044-945-2316　sintamah@chive.ocn.ne.jp

安否シート（防災安否確認マグネットシート）の配布について

新多摩川ハイム防災会　会長代行　西浦啓二

いつも防災会にご協力有難うございます。
しいアイデアで安否シートを独自に企画制作致しましたので配布します。
使用方法をご理解の上、早速にもドアに貼ってご活用いただきたくお願い致します。

ハイムも高齢化が進み28期より[いざと言う時の声掛け要望者登録制度]がスタートしました。
しかし個人情報問題もあり、どの部屋が声掛け要望者なのか**事前には**エントランス内に徹底しにくく
被災時にどこまで制度がうまくいくのか心配な点がありました。

一方ハイム内の別号室に親族が住んでいる高齢者が増えており、地震後にそこへ避難移動された場合には
安否確認作業が混乱する可能性があり、その問題解決も必要になっていました。

この安否シートを**震度5強以上の地震が発生した際には、この安否シートの裏面（黄色または緑色）を見せてドア外に貼り出す**ことで、そうした問題が解決できればと考えております。

このシートには表面と裏面の両方に印刷がされていて、磁力で玄関ドアに貼れるようになっており、2種類あります。
Aシート:　声掛け要望登録者（川崎市の避難支援登録者を含む）用の裏面が黄色のシート
Bシート:　それ以外の一般の方用の裏面が緑色のシート

使用方法は
①常に玄関ドア内側にこのシートの防災心構えメモのある灰色面が見えるよう貼りつけてください。
（邪魔にされないで貼り続けてもらえるよう、ドアに溶け込むデザインに工夫しました。）
地震発生時の手順が記憶され、いざという時に慌てずに行動できるよう役立つはずです。

②地震が起きた時にはそのシートの裏面が見えるようにして、玄関ドア外側に貼り出してください。
声掛け要望を登録された号室が明確になり、ハイムの共助による初期対応と安全を確実にします。

もちろん、万が一緊急事態に見舞われた時は即座に大きな声で周りに助けを求めてください。

（裏面へ続く）

2種類のタイプのシートには、本ページ内に掲載した写真に示す様に、表裏の両面に印刷がされています。
[ハイムのいざという時の声掛け要望登録者]および[川崎市の災害時要援護者避難支援制度登録者]号室用がAシート(裏面黄色)で、一般用がBシート(裏面緑色)です。 なお、各シートの表面(灰色)は、共に同一内容です。

●表面(灰色)の写真(A、B シート共通)
・普段はこちらの面が見えるように玄関ドアの内側に貼ってください。

災害発生時には、裏面が見えるようにして玄関ドアの外側に貼りつけてください。

- まずは身の安全、安全な空間で頭を守りましょう。
- 揺れが収まったら火の始末、電源を切りましょう。
- 玄関ドアを開けておきましょう。
- スリッパを履いて、家族と部屋の安全確認。
- 非常用伝言ダイヤルは171、ネット伝言板はweb171。
- この安否シートを外に貼り出し、お隣さんへ声掛けを。
- エレベーターは使用禁止、閉じ込め事故は大危険。
- 窓を開けて、屋外スピーカーを聞きましょう。

●Aシート裏面(黄色)の写真
・地震発生時はこちらの面を玄関ドアの外側に貼ってください。
・外出する方はホワイトボードペンなどで□に✓を入れ、連絡先を記入してください。

いざという時の声掛け要望者です。
中に入っての様子見をお願いします。
災害時通信版の記入は面談の上、手助けしてください。
次の部屋への手渡しも、代行を宜しくお願いします。

□ ✓がある場合は外出中です。
連絡先は _____

●Bシート裏面(緑色)の写真

無事です。

□ ✓がある場合は外出中です。
連絡先は

・この安否シートは再利用致します。転居する場合は管理事務所にご返却ください。
・配布された安否シートタイプの変更(A⇒B、B⇒A)を希望される場合には、交換とさせて頂きます。

該当しないタイプのシートが配布されてしまった場合には、お手数ですが管理事務所へお伝えください。交換致します。
シートタイプの変更希望やご不明な点などございましたら、ハイム防災会 会長代行 西浦 2−212
(E メール:mla06512@nifty.com)まで、お気軽にご連絡ください。

いざと言う時の声掛け要望者登録制度の申し込み用紙は管理事務所にあります。